



< 経審トレンド5を使ってライバル企業に打ち勝とう >

～ 収益性の比較～ 2月21日に日銀の政策金利(無担保コール翌日物金利)が0.25%から0.5%に引き上げられ、有利子負債の多い会社では、金利負担が増えることを覚悟していかなくてはなりません。加えて、都市部では民間建築工事は堅調に推移しているけれども、総務省、国交省から地方自治体に向けて一般競争入札の導入拡大を要請され、公共工事においては競争原理導入による工事利益の低下は避けられそうにありません。このような環境の中、各建設会社がどのように対応し収益力を高めていくかは注目すべきところです。

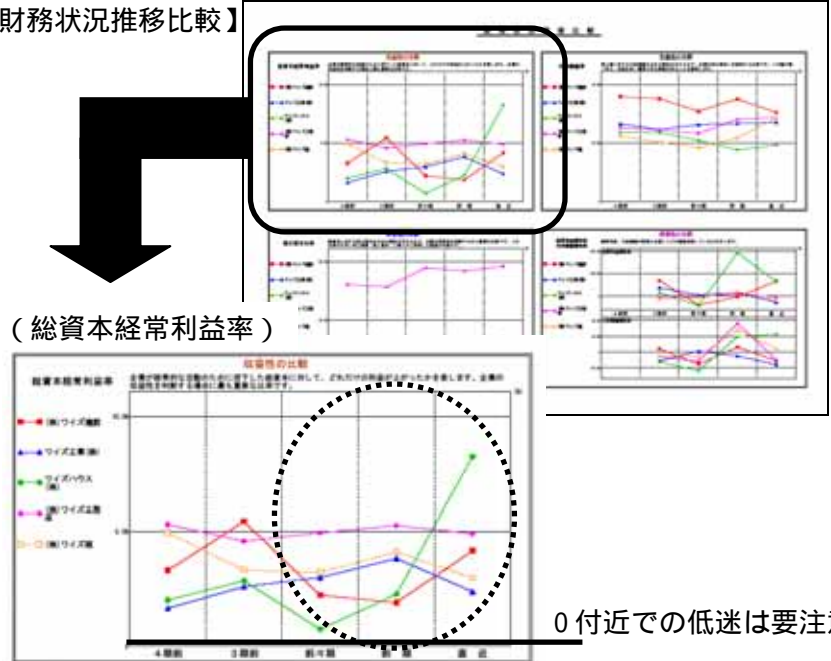
さて、「経審トレンド5」では、過去5年間の財務状況の推移を比較することができます。「推移」で一番気になるところは、やはり収益性の推移です。まずは、財務状況推移比較の左上の総資本経常利益率のグラフを見てみましょう。各社の5年間の総資本経常利益率の推移が確認できます。総資本経常利益率が右上がりなのか右下がりなのか、総資本経常利益率の高さを比較してみましょう。そうするとおおむねライバル会社の位置を確認できます。最近の経済状況からすると、右下がりの会社が多く、各社ともいかに利益率の低下を防ぐかに苦労しています。総資本経常利益率が何年も0付近で低迷している会社は要注意です。かなり厳しい状況といえるでしょう。

さらに、比率だけでなく、金額の推移も確認しなくてはなりません。この表は、1社ごとの財務状況推移分析シート(右上)収益性の推移にあります。各社の完成工事高、経常利益、有利子負債の推移が分かります。また、収益性の指標では営業利益のY評点への寄与度が高くなっていますので、左の表の営業利益の推移を確認しましょう。さらに、最近では営業利益、経常利益がプラスでも多額の特別損失を計上して当期純利益がマイナスになるケースもありますので、当期純利益の推移も見てください。そして、最終的には自己資本が増えているのか減っているのかを自己資本の推移を見て確認してみましょう。

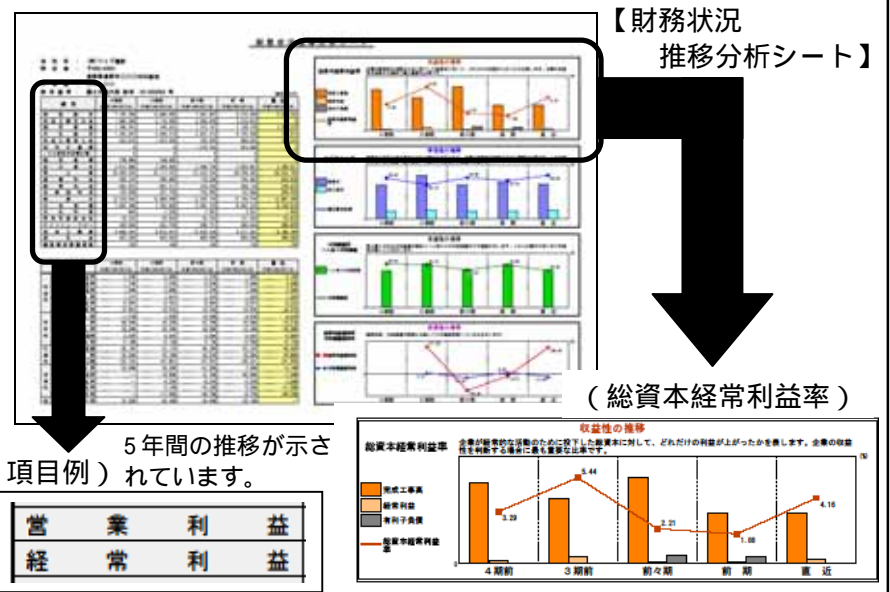
当期の損益の悪化は数年後に大きな痛手となってはね返ってきます。マラソンのように、ライバルの息づかいと自社の余力を感じながら経営にあたりたいものです。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

【財務状況推移比較】



【財務状況推移分析シート】



弊社100%出資子会社 **ワイズ公共データシステム株式会社** <経営状況分析申請> 受付中!!

詳しい資料請求はこちらまで

お電話 <026-232-1145>

e-mail <info@wise-pds.jp>

経審トレンド5 好評無償公開中!!
全国18万の建設会社5期分の経審データを比較
ライバル社との売上・経営状況を比較分析
どなたでも無償でお使いいただけます
製品紹介・ダウンロードはこちらからどうぞ!
<http://www.wise.co.jp/trend/>
Wisdom 資料請求(無償) Wisdom デモCD 希望(無償)
送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
今後「Wise FAXNET」送信不要 今後「Wise FAXNET」はメールで希望
FAX 送信はこちらまで **0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX
今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。	
e-mail	